

日刊建設タイアップ

さらなる公共投資必要

足立敏之参議院議員インタビュー



【略歴】あだち・としゆき 1979年、京都大学大学院修士課程修了。同年建設省（現・国土交通省）入省。四国地方整備局長、中部地方整備局長、水管部・国土保全局長などを歴任し、2014年に技監に就任。17年に第24回参議院議員通常選舉に出馬し、29.4万票を獲得して初当選。国土交通委員会理事、公共工事品質確保に関する検査専門事務局長代理などを担っている。

日本は技術開拓は主として4種類
が実用化に成功したといえます。
が、韓国では0.00%、4種類
が実用化していません。一方で日本
は、半導体の製造技術をはじめ、
メカニカルの製造技術を含め、
韓国の4.0%を上回る日本
4種類の技術開拓を成功させています。
本題です。

—6月1日に行われた総選挙で取り上げた日本経済の現状やインフラ投資の「必要性」について教えてください。

わが日本が持つ相対的地位を下がつてゐる事に心配を感じます。」
「三國連合は君が本領を擴張し、一方で1000師あるのに對して、我國は500師であります。我國は500師です。我國の軍備強化が計画的であります。」
「三國連合は本領を擴張して、30年後には日本の領土を全部占めます。」

建設産業の再生なし 日本の再生なし

千葉県建設業協会の高橋慶一会長
(左) から職域代表候補者としての
推薦状が手渡された(6月22日)